国立病院機構弘前病院広報誌

まほろば

Hirosaki National Hospital

病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第75号　2007年9月発行

【コラム】医患一如

お茶の世界で主客一如（しゅきゃくいちにょ）という言葉があります。この言葉の意味は、お茶をもてなすご亭主と招待されたお客さんが一体となることにより茶事がうまく運ぶということです。

これにならって弘前病院では医患一如（いかんいちにょ）を目指したいと思います。それは健康という最終目的に向かって、患者さんと医療従事者が一体となることです。そこには当然お互いが節度を持つことが大切です。一体となるためには信頼がなければなりません。見方を変えると良い医療とはお互いが信頼することです。

患者さんの不安は医療従事者への不信につながります。だから患者さんは不明なことや疑問について医療従事者に聞いて下さい。質問を受けた医療従事者は自分の判断で答えられることは速やかに、上司の判断を仰がなければならないことならば上申し、直ちに患者さんに答えて下さい。

医療従事者の速やかな対応で患者さんからの信頼が増します。医療従事者に対して信頼を強くすることで患者さんには安心感が生まれ、健康快復につながります。

院　長　五十嵐勝朗

【接遇講演会―ホスピタリティ不全症候群への処方箋―Step 2】

昨年９月に開催し大好評であった接遇講演会。今年もホスピタリティ開発トレーナーの木島先生をお迎えし、Step 2が９月６日（木）に行われました。ホテルスクールの副校長の経験を持つ木島先生の数々の体験と先生の人間ウォッチングから学んだコミュニケーションアップの方法を、ユーモアたっぷりに講演いただき、90分の時間は、笑いが渦巻く中、あっという間に終了の時刻となりました。

講演終わった後は、「もう少し聞きたかった」、「また来年も木島先生に来てもらいたい」との声が多く上がり、盛会な講演会でした。

この会の冒頭の言葉を記載しますので、参加されなかった方も、ぜひ実践してみて下さい。

『今どきの「もてなす心（ホスピタリティ）」とは、「粗相のないよう接客する」ということに非ず。「相手を受け容れ尊重しつつ、〝こちらからも積極的にメッセージを発信する〟こと」なのです。私たちの仕事は、患者さんやご家族が、安心感、開放感、解決感、納得感、満足感 etc‥を味わうための支援です。患者さんやご家族の〝当店〟体験に「小さなベター」が添えられるよう、接点業務の分析を試み、新たな工夫を実践して行きましょう。』

管理課長　大類　靖

【津軽最大の秋祭り―お山参詣―】

「お山参詣」は、毎年旧暦８月１日、津軽富士ともいわれる岩木山に集団登拝して御来光を拝み、五穀豊穣や家内安全を祈願する伝統行事です。昭和59年には、国の重要無形文化財に指定されています。

「サイギサイギ（懺悔懺悔）、ドッコイサイギ（六根懺悔）、オヤマサハツダイ（御山八大）、コンゴウドウサ（金剛道者）、イーツニナノハイ（一々礼拝）、ナムキンミョウチョウライ（南無帰命頂礼）」過去を悔い改め、迷いを捨てて信仰し、自己浄化を目指すという掛け声が、今年も津軽の秋空に響き渡りました。

今年は、９月８日が「向山（むかいやま）」（初日）、９日は「サイギサイギ」の掛け声も高らかに、御幣（ごへい）や幟（のぼり）を掲げて岩木山神社を目指す「宵山（よいやま）」（二日目）、10日「朔日山（ついたちやま）」（最終日）には、御来光を拝むため、未明に岩木山山頂を目指して出発しました。今年は実に４年ぶりの御来光となり、参拝者の感動も一入（ひとしお）でした。

最近では、弘前市岩木庁舎から岩木山神社まで御幣（ごへい）を手に歩く「レッツウォークお山参詣」なども行われており、津軽人ならずとも「霊峰岩木山」に対する心を感じる事ができます。一度参加してみてはいかがでしょうか？

庶務係　工藤　真叔

『病院機能評価の結果出る、認定留保』

平成19年８月３日に、当院が本年５月に受審した日本医療機能評価機構による病院機能評価の審査結果が報告されました。この評価のゴールは「認定」ですが、結果は１年間の「認定留保」となりました。指摘された９項目の「改善要望事項」が改善されれば「認定」ということです。「認定」に向けて長年取り組んできましたので、「認定留保」の結果は正直なところ残念です。

しかしいくつか改善の不十分なところは私たち自身にも見えていましたので、結果は予想されたものではありました。

さて指摘された改善要望事項ですが、医療ガス安全・管理委員会の開催、麻薬管理の徹底、注射の指示出し・指示受けを確実に行うための仕組みづくり、身体抑制の基準・手順の見直し、診療録の適切な記載、等です。基準の作成等、すぐにでも改善できる項目もありますが、ある程度時間を掛けて日常的なものにしていく必要のある項目もあります。

しかし、いずれも困難な課題ではありません。当院職員の病院機能改善に対するこれまでの意気込みをもってすれば、決して難しくはありません。「認定証」はもうすぐ手の届くところにあります。頑張りましょう。

臨床研究部長　泉井　亮

【第30回リハビリテーション研修会】

９月９日～13日の５日間、国立病院機構東京病院で開催された第30回リハビリテーション研修会を受講してきました。北は北海道、南は鹿児島、全国の国立病院機構で勤務する言語療法士、理学療法士、作業療法士、計33名が招集され実施されました。タイムリーな嚥下障害や地域パスの話題から、高次脳機能の基礎知識まで幅広く充実した内容でした。懇親会では各病院の現状などの情報交換もあり大変有意義な研修となりました。

リハビリテーションには限界がありますが、一人でも多くの患者様が家庭復帰、職場復帰を果たせるようにこれからも努力していきたいと思います。

余談になりますが今回研修を行なった東京病院は都心から30分程度の緑豊かな閑静な場所にあり、敷地はとてつもなく広く、カブトムシでもいそうな森林が生い茂っていました。

また中に一歩足を踏み入れると、床は大理石で天井が吹き抜けの中央ロビー、病室のネームプレートはタッチセンサーの液晶パネル、一流レストランのような職員・患者様共用の食堂など、高級ホテルのような佇まいでした。ちなみによくドラマの撮影に使われているとのことでしたが…外来の活気、庭の手入れは弘前病院が勝っています。

言語聴覚士　山田　大介

【後期臨床研修説明会、収穫はなし】

結果はゼロ。これは９月２日（日）に東北厚生局が主催して仙台で開催された第３回東北ブロック「臨床研修終了後」研修等に関する合同説明会で当院に説明を求めた研修医の数です。

少しでも目立つようにと、ポスターも用意しましたが、全く寂しい結果でした。参加病院の数が申し込んだ研修医数を大きく上回る状況で、負け惜しみですが、青森県、岩手県、秋田県からの参加病院はどこも似たような成績でした。以後この会への当院の参加について、考え直す必要があるかもしれません。

とは言っても、当院は若い医師にもっと関心をもってもらわなければなりません。地域の医療を充実させるために、大学をはじめ地域の医療機関が連携して、地域の人々と一緒に次の医療の担い手を育成していくことが不可欠だからです。

幸いなことに当院には実力のある中堅医師が揃っていますし教育への情熱も十分あります。だからこそ、若い医師を呼び込むための努力は続けなければなりません。

臨床研究部長　泉井　亮

【職場紹介】『管理課』

『管理課ってなに？』…一般の会社でいうと総務に当たるものと理解して良いと思います。具体的には、人事関係・健康管理・給与諸手当等・旅費・庁舎管理・臨床研修医関係・福利厚生（共済組合）・電話交換や郵便等の受発送、車の配車、家政等、他の部署に属さない業務は管理課の担当です。また、ボイラー、洗濯、営繕も管理課ですが、今回は事務室の職員を紹介します。

事務室に入ると右側の席が管理課の職員です。管理課長（大類）、庶務班長（田中）、庶務係長（髙橋）、車庫長（玉田）、庶務係（工藤）（横山）（長内）共済係（井沼）の総勢８名体制ですが、４名が４月以降に管理課勤務となったため、経験不足は否めません。しかし職員や患者様、ご家族の皆様に信頼される職場を目指し日夜（？）努力しています。

現在、職員に、組合員証の検認・扶養手当など諸手当の確認作業等を依頼しています。また、10月には胃検診、年末にかけては年末調整の申告等があります。妊娠・出産・育児休業・新築・住所変更の届け出、勤務時間などに関することで、解らないことがありましたら、解りやすく説明しますので、お気軽にお尋ねください。

庶務班長　田中　省剛

外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表（2007年９月１日現在）

診療科		月	火	水	木	金
総合診療外来	午前	／	／	大串和久	／	／
内科		人見博康	小沢一浩	人見博康	小沢一浩	小沢一浩
呼吸器科		山本勝丸	中川英之	中川英之	山本勝丸	中川英之
消化器科		佐藤年信 中畑元	佐藤年信 中畑元	佐藤年信 中畑元	中畑元 （藤田均）	佐藤年信 中畑元
小児科		杉本和彦 大谷勝記	野村由美子 佐藤啓	杉本和彦 大谷勝記	佐藤啓 野村由美子	野村由美子 杉本和彦
外科		田澤俊幸 三上勝也	高橋克郎 三上勝也	横山昌樹 田澤俊幸	横山昌樹 高橋克郎	三上勝也 横山昌樹
整形外科	午前	柿崎寛 近江洋嗣 上里涼子	柿崎寛 工藤整 又は 加藤幸三	柳澤道朗 近江洋嗣	柳澤道朗 又は 近江洋嗣 加藤幸三 又は 工藤整	柿崎寛 柳澤道朗
	午後	／	／	／	／	柿崎寛
脳神経外科		／	／	木村正英	／	／
皮膚科	午前	熊野高行 鳴海博美	鳴海博美 熊野高行 小笠原寛	鳴海博美 熊野高行 小笠原寛	熊野高行 鳴海博美 小笠原寛	熊野高行 鳴海博美 小笠原寛
	午後	熊野高行	●手術	鳴海博美 小笠原寛	●手術	小笠原寛
泌尿器科		大和隆	大和隆	大和隆	大和隆	大和隆
産婦人科		真鍋麻美 工藤香里	佐藤春夫 田中加奈子	真鍋麻美 工藤香里	●妊婦健診	佐藤春夫 真鍋麻美
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子 武田育子	黒田令子 武田育子	●手術	黒田令子 武田育子	黒田令子 武田育子
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	／	阿部由直（午後）	／	／	／
麻酔科		●手術	●手術	●手術	工藤明	●手術

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

【シリーズ】臨床検査のＡＢＣ⑫　血液検査室

血液検査室

１回目は、血球計数についてです。血液検査室では血液中に含まれる血球の数を数えて血液の状態を調べています。

血球計数には、白血球数・赤血球数・ヘマトクリット値・ヘモグロビン値・血小板数・網状赤血球数がありますが、今回は白血球以外の５つについてお話します。

赤血球　基準値　男430～570万/μℓ
　　女370～490万/μℓ

赤血球は骨髄で作られ、酸素を運搬し二酸化炭素を受け取って肺まで運んでいます。その数は男女差、時間、季節、運動、喫煙、妊娠などによる変動があります。赤血球が減ると貧血が、増えすぎると血液が濃くなって流れにくくなり、血管がつまりやすくなります。

ヘモグロビン値　基準値　男13.5～17.0mg/dℓ
　　女11.5～15.0mg/dℓ

ヘモグロビン（血色素）は赤血球の主成分で、酸素や二酸化炭素を運びます。貧血などの血液　検査のスクリーニング検査として用いられます。

ヘマトクリット値　基準値　男40.0～50.0%
　　女35.0～45.0%

ヘマトクリットは血液中に占める赤血球の容積の割合（%）です。貧血など血液検査のスクリーニング検査として用いられます。

血小板数　基準値　15.0～35.0万/μℓ

血小板は出血した時、血を止める働きをします。数が減ったり、機能が低下すると血が止まらなくなる、出血性疾患などが起こります。

網状赤血球　基準値　6.0～20.0‰

網状赤血球は幼弱な赤血球です。この数の増減は、赤血球の産生能をよく反映します。貧血の検査に有用です。

生理学主任　外崎　和代　臨床検査技師　橘　輝彦

【弘前病院附属看護学校新校舎着工】

弘前病院附属看護学校の新校舎が、いよいよ着工します。９月21日に入札を行い、契約業者が決定。10月初旬より整地、基礎工事が始まります。

完成は平成20年５月20日。桜の季節で大変良い時期だと思います。

引越時期は何時になるか検討中ですが、職員が力を合わせて引越を行いたいと思っていますが、特に学生達には大いなる期待をしています。なにしろ、新校舎は３階建、エレベーター付、冷暖房完備となりますので、喜び楽しみを力にして頑張って引越お願いします。（ただし光熱水の節制をすること―企画課談）

弘前病院附属看護学校新校舎

東側

西側

また来春に、完成しましたら皆様に新校舎のお知らせをいたします。

業務班長　遠藤　洋一

【風の子保育園～うんどうかい～】

9月9日(日)看護学校体育館にて風の子保育園運動会が行われました。父母・祖父母の大拍手に迎えられて元気に園児29名の入場行進、力強い選手宣誓。ラジオ体操で技が始まりました。

ハイハイ、ヨチヨチ歩きでスタートし笑顔で完走できた、つくし組。特産物（リンゴ・ホタテ・マグロ）を祖父母に届ける宅急便競技では、孫との微笑ましい光景が見られた、ちゅうりっぷ・たんぽぽ組。手拭いをかぶり、洗濯板、ハタキを持って昔ながらの家事仕事に挑戦した、ばら組小旗を持って「フレーフレーおじいちゃん・おばあちゃん」と応援されながら、見事な貼り絵の岩木山を作ってくれた祖父母の皆さん。完成した岩木山を前にして「さいぎ、さいぎ」と親子で頑張った「お山参詣」は地域の伝統行事を取り入れた、ひまわり・ゆり組ならではの競技でした。

綱引き・玉入れ・親子リレー、ポンポンを持って、かわいく踊ってくれたチアダンス。たすき姿に鳴子を持ち勇ましく踊ってくれた遊戯。祖父母の皆さんが手本を見せ踊ってくれた昔から伝えられてきた手踊り「どだればち」など会場を盛り上げてくれました。

今年も沢山の感動が生まれ笑顔が溢れる運動会になりました。本当にお疲れ様でした。

風の子保育園長　諏訪　栄子

【ふるさと紹介】青森市

私のふるさとの原別は青森市の東側にある海に近い地域です。実家の近所は田んぼばかりで、同じ青森市でも中心街にあるようなにぎやかさは無く、のどかな自然の風景が広がっています。

私の住んでいた地域にあるいくつかの名所の中で、今回は、青森市の合浦公園の紹介をしたいと思います。青森の桜の名所では弘前市の弘前公園が有名ですが、合浦公園もお花見の季節になると人で賑わい、きれいな桜や出店を楽しむことができます。桜並木の下に立ち並ぶ出店の食べ物や催し物を見て回り、芝生の上にござを敷いて桜を眺めながら家族や友人と会話を弾ませるのは、とても清々しく心地よいひと時となります。また合浦公園は全国的にも珍しい海浜公園で、桜が見ごろとなるゴールデンウイークの前後では芝生の緑と海・青空、桜のコントラストがとても綺麗です。しかしまだ海風が肌寒く感じるので、薄手の上着を持って行くなどの寒さ対策に工夫した方が良さそうです。合浦公園へは青森駅からバスに乗って行くことも出来るので、青森市に行く機会のある方はぜひ立ち寄ってみてください。

西３病棟看護師　柏倉　里美

【今月の川柳】

★【川柳募集】あなたの川柳をお待ちしています。

暑くても、玄関生け花さわやかに　（カマダ）

※ 掲載した作品は、広報誌編集委員会で選出したものです。

◆ 苦情相談窓口

患者様やお見舞いの方などからの苦情・相談については、『患者相談室』のMSW（メディカルソーシャルワーカー）や、院内6か所に設置している『ご意見箱』で対応しています。

なお、皆様にお知らせした方が良い内容のものは、外来掲示板に掲示しています。

発行元　独立行政法人国立病院機構弘前病院
Hirosaki National Hospital
責任者　副院長　佐藤　年信
〒036－8545　弘前市大字富野町1番地
TEL0172-32-4311　FAX0172-33-8614
ホームページ　http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/